

特集 災害への対応

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、JR東日本管内の多くの鉄道施設や周辺の地域が大きな被害を受けました。被害に遭われた皆様、関係の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

大震災に当たり、JR西日本グループでは、鉄道設備の早期復旧や重機の提供、物資の支援、貨物列車の輸送手配等、最大限の支援を実施しました。一方で、当社が部品を調達していたメーカーが被災されたことにより、車両保守部品の調達が滞り、列車運行計画の見直しを行う事態となり、お客様に多大なご迷惑をおかけしました。

また、8月末に発生した台風12号の影響により、各地で大きな被害が発生しました。当社でもきのくに線・因美線において、斜面崩落や橋梁流失等が発生し、長期にわたり列車の運転を見合わせる事となりました。

東日本大震災への対応



東北新幹線古川駅周辺
電車線復旧工事
(西日本電気システム株)



東北本線小牛田・新田駅間復旧工事
(松井軌道株)



東北新幹線 新幹線総合車両センター
復旧工事(松井軌道株)

当社グループの支援活動

当社グループは、阪神・淡路大震災により甚大な被害を受け、その際、JRグループ各社をはじめ、多くの方からのあたたかいご支援をいただきました。当時のご恩に報いる意味でも、重要な交通インフラの早期復旧が被災地の方々への貢献につながるとの認識のもと、JR東日本、JR貨物に対し、できる限りの支援を行いました。

物資の支援

震災発生翌日から、JR東日本・JR貨物の両社に対し、飲料水、食糧、毛布、業務用燃料等の提供を行いました。生活に関わる物品については、JR東日本を通じて被災地の方々にもご提供することができました。



支援物資の積込(株)ジェイアール
西日本マルニックス、北陸荷物株)

人的支援

JR東日本からの要請を受け、グループ会社の西日本電気システム株、協力会社の松井軌道株が東北新幹線・東北本線の復旧工事に携わりました。ほかにも、広島鉄道病院では自治体からの要請に基づき、医師等を派遣しました。

義援金

3月31日に、JR西日本グループとして、日本赤十字社に対し3億円を寄付しました。また、当社グループの社員等から寄せられた約7,850万円についても、4月19日に日本赤十字社に全額寄付しました。

社員のボランティア活動に対する支援

東日本大震災の被災地でのボランティア活動に対する特例措置として、ボランティア活動に参加した社員に対し、会社として、交通費・宿泊費に対する支援(3万円を上限)を行うこととしました。→P37もあわせてご覧ください。

大規模地震をはじめとする災害への備え

高架橋柱の耐震補強工事については、阪神・淡路大震災以降、計画に基づき着実に実施してきました。新幹線では平成22年度末までに工事を完了し、在来線の整備率は95%です。また、「安全性向上計画」で整備することとしている、高速運行区間であり、かつ活断層の存在が明らかになっている湖西線等についての工事も完了しました。さらに、山陽新幹線の橋脚の耐震補強工事を進めており、平成22年度末までの整備率は19%です。

また、線路の内側に敷設し、地震により車両が脱線した際も線路から大きく逸脱することを防止する「逸脱防止ガード」は、試験敷設で問題がないことが確認されたため、まず、山陽新幹線

新大阪・姫路駅間の、上り線と下り線をあわせて約110kmの区間で整備を進めます。

列車運行維持に向けた取り組み

東日本大震災の影響により、特に電車のモーターの部品のひとつである直流電動機ブラシについては、長期にわたり調達が難しくなるおそれがあり、ブラシの磨耗による交換周期を延ばす工夫や、複数のメーカーのご協力を仰ぐなど、できる限りの対応を行いました。1週間にわたり列車本数の削減を実施せざるを得なくなり、多くのお客様にご迷惑をおかけしました。

今回明らかになった課題を踏まえ、列車運行の継続に重要な物品を抽出のうえ、列車運行に影響を及ぼさない在庫のあり方等について、方策を検討・実施していきます。→詳しくはP57をご覧ください。

節電の取り組み

東日本大震災による電力需給の問題は、我が国全体で取り組んでいかなければならない課題であると考えています。お客様にご不便をできるだけおかけしないよう留意しつつ、また、お客様のご理解・ご協力をお願いしながら、企業としての社会的責任を全うすべく、節電に取り組んでいます。

7月1日以降、実施している節電の取り組み

【駅】ホーム・コンコース照明の部分消灯(主に日中時間帯、天候や施設の構造により個別調整)／自動券売機・自動改札機の一部停止(ご利用状況にあわせた対応) 等

【列車内】空調の冷え過ぎの防止(車掌によるこまめな調整)／車内室内灯消灯(10:00～16:00、近畿エリア15線区、優等・ワンマン除く)

【オフィス等】蛍光灯の一部消灯・撤去／エレベーターの一部停止／空調設定温度の変更(28℃)／オフィス機器の電源オフ 等



券売機の一部使用停止(大阪駅)



ホームの一部消灯(大阪駅)

省エネルギー、地球環境保護及び電力需給の観点から、引き続きお客様のご理解を得ながら今後も節電の取り組みを継続していきます。

台風12号による被害への対応

当社施設の被害状況

きのくに線

- 切目・岩代駅間…のり面変状
- 白浜駅…駅構内冠水、特急オーシャンアロー1編成冠水
- 椿・紀伊日置駅間…変電所冠水
- 紀伊日置・周参見駅間…太間川護岸流出、盛土崩壊
- 紀伊浦神・下里駅間…江川橋梁盛土一部流出
- 下里駅…道床流出
- 紀伊天満・那智駅間…那智川橋梁流失
- 那智・宇久井駅間…道床流出
- 新宮駅…駅構内冠水、特急オーシャンアロー等10編成冠水

因美線

美作河井・那岐駅間…斜面が崩落、同区間が不通に

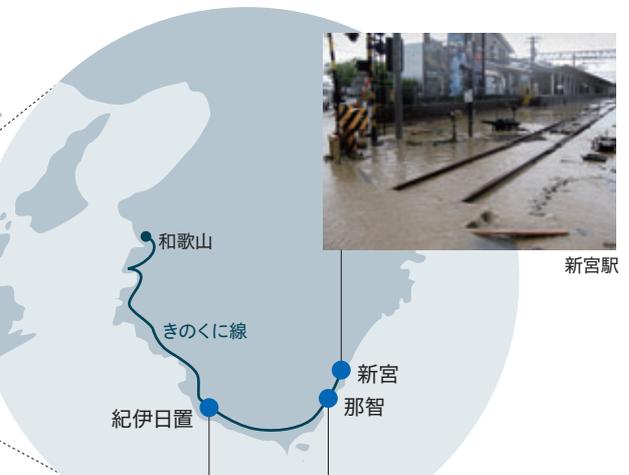
社員のボランティア活動に対する支援

台風12号による被災地でのボランティア活動に対する特例措置として、ボランティア活動に参加した社員に対し、宿泊費の一部支援を行うこととしました。

運転再開に向けて

きのくに線については9月17日には白浜・串本駅間、26日には串本・紀伊勝浦駅間で一部列車の運転を再開しました。

紀伊天満・那智駅間の那智川橋梁については、すみやかに現地での調査を進めるとともに、和歌山県と連携を図りながら復旧工事の計画を策定の上、工事に着手し、紀伊勝浦・新宮駅間は



新宮駅



紀伊日置変電所



那智川橋梁

12月3日に運転再開できる見込みとなりました。(11月22日現在)

因美線美作河井・那岐駅間については9月18日、始発列車から運転を再開しました。